

西城支所

工事の無事を祈る

庄原市立西城保育所安全祈願祭



掃除の様子

7月26日、西城保育所新園舎建設工事の安全祈願祭が行われました。これは、当工事の受注者である小林建設・西城建設建設工事共同企業体が、工事の無事を祈って開催したものです。

祝詞奏上や清めの儀式などに続き、建設予定地中央で、関係者による鉄入れが行われました。

新しい園舎が整備されるのは、温水プール水夢の隣で、アレルギー対応食専用の調理室や病後児保育室など、安心安全の保育を実現するための設備を備えています。

心地よい自然と地域の見守りに囲まれた新西城保育所は、令和2年4月に開設する予定です。

自治
定住課

帰省者に向けUターンを呼びかけ

しょうばらUターン・空き家相談会



相談会の様子

市は8月10日、東城町川東のトイエイで、11日に西本町の庄原ショッピングセンタージョイフルで、庄原市へのUターン希望者と空き家所有者向けの相談会を開催しました。

本市出身者で市外在住の方から、仕事や住まいなどに関するさまざまな相談がありました。また、本市在住の方で、空き家でお困りの方からの相談もあり、10人以上の相談者が訪れました。

会場には庄原市PRキャラクター「ヒバゴン」が駆けつけ、庄原市への帰郷をPRし、注目を集めていました。

今回のイベントに限らず、自治定住課定住推進係（☎0824・73・1257）では随時相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

東城支所

地域の枠を越えた視点でつなぐ

時悠館企画展関連行事 記念講演会



紙芝居「比婆山物語」



展示解説会

8月3日、時悠館で春・夏の企画展「知られざる比婆山信仰の世界」に伴う記念講演会などの関連行事を開催し、約130人が参加しました。

午前の展示解説会は、当館学芸員と、みえ熊野学研究会の三石学運営委員長によるコラボ解説会となりました。中国山地と紀伊半島に伝わる二つのイザナミの聖地の歴史的関連性や魅力について、展示資料をもとに参加者全員で考えました。

午後は、比婆山伝説ガイド・ツイハラのおぐによる紙芝居「比婆山物語」上演会と、三石さんによる記念講演会「世界遺産熊野の花の窟」と「比婆之山」が行われました。

庄原市や三重県熊野市をはじめ、比婆山信仰圏と世界遺産熊野の歴史文化の魅力や、地域の枠を超えたグローバルな視点でつなぎ合わせていく三石さんのお話に、会場の全員が聞き入っていました。

社会
福祉課

受け継ぐ平和への思い

戦没者追悼式・平和祈念式典



総領小学校児童による合唱



庄原実業高校 brassバンド部による演奏

戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念するため、「令和元年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を8月21日、庄原市民会館で開催しました。市民や遺族など548人が参列し、戦没者2923人の冥福と平和を祈りました。

式典の式辞で木山耕三市長は、「私たちは戦争の惨禍を繰り返さぬこと、先人が築かれた歴史や文化、ふるさと庄原市を、未来を担う若者や子どもたちに継承していくため、全力を尽くすことを誓います」と述べました。

また、比和中学校生徒代表の白根浩奈さんが「私たちは、74年前の記憶と命の大切さを、この庄原からもっと広げ、後世に伝えていくことを誓います」と平和の誓いを述べました。

追悼吟詩、口和本の会による朗読、総領小学校児童による合唱、庄原実業高校 brassバンド部による演奏も行われ、改めて平和の大切さを心に刻みました。

教育
指導課

中国の歴史や文化を学習

中国四川省綿陽市を訪問



庄原市青少年友好訪問団の発表

7月29日から8月3日まで、市内小・中学校の児童生徒7人と引率者4人で構成された庄原市青少年友好訪問団が、経済技術友好協力協定を結んでいる中国四川省綿陽市を訪問し、学校訪問やホームステイを中心に中国の歴史や文化を学びながら、現地の人たちと交流を深めました。

児童生徒代表を務めた、西城中1年生の神本あやめさんは、「新しい発見や驚きがある中で成長するとともに、改めて庄原市の良さ、日本の文化の素晴らしさを感じることができた。中国で見たり聞いたりを作文にまとめ、



綿陽庄原友好小学校の皆さんと記念撮影

学校みんなに伝えていきたい。この訪問で経験したことをこれからの学校生活に生かしていきたい」と話していました。